

一般社団法人日本地域看護学会 議事録

一般社団法人日本地域看護学会 2019年度第4回理事会議事録

- I. 日 時 2019年11月24日(日) 10:30～15:00
- II. 会 場 TKP品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4H
(東京都港区高輪 3-26-33 京急第10ビル)
- III. 出席者
- | | |
|-------|---|
| 理事長 | 宮崎美砂子 |
| 副理事長 | 荒木田美香子*, 田高 悦子 |
| 理 事 | 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子*,
岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる*,
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗 |
| 監 事 | 佐伯 和子*, 村嶋 幸代* |
| 学術集会長 | 金子 仁子 |
| 事務局 | 筒井 愛, 野田 智己 (*印は欠席者) |

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。また、本理事会の議事録署名人として、宮崎理事長が指名された。

IV. 議 事

報告事項

1. 第22回学術集会について(金子学術集会長)資料1

第22回学術集会(8月17～18日)について総括案を基に報告した。参加者は学術集会全体で652人、一般演題の演題数は114題、ワークショップは9テーマ、キックオフセミナー参加者43人、懇親会参加者は57人であった。監査については、次回理事会にて報告予定である。

2. 2019年度会員報告会について(石丸理事)資料2

2019年度会員報告会ならびに表彰式(8月17日)について、議事録を基に、57名の参加者があったことを報告した。宮崎理事より2年間の活動方針と地域看護学の再定義について説明した。

3. 第23回学術集会について(河野理事)資料3

第23回学術集会(2020年8月29～30日)の準備状況について、資料を基に概要、プログラム案、予算案等について報告した。演題抄録の種別に新たに実践報告を設けたほか、2019年12月末に開催案内等を送付予定である旨を併せて報告した。また、理事会セミナーについては、8月29日の午前中に行うこととした。

4. 会員数について(石丸理事)資料4

10月1日時点での会員数は、1,458人である旨を報告した。

5. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事)

第2回委員会を10月6日に開催し、第22巻第3号の編集作業を進める旨、新規論文11編の査読を行う旨、また、学会誌の電子ジャーナル化について第23巻第1号より開始する旨、第22巻第3号に、電子ジャーナル化の通知文を掲載することを報告した。

2) 研究活動推進委員会(宮崎理事)資料5

第1回研究セミナー「健康で安全な地域社会の構築を目指す実践研究;実践者と研究者の協働手法CBPR」を国際医療福祉大学東京赤坂キャンパスにて、2020年3月8日に開催予定である

旨を報告した。

3) 広報委員会（田村理事）資料 6

第 1 回委員会を 10 月 6 日に開催し、地域看護学の再定義や学会の広報活動を検討したこと、今後、バナー広告の掲載について検討するほか、HP のチェックを月 1 回行う旨を報告した。

また、大阪府内の地域包括支援センター等 271 か所を対象にアンケート調査を実施することとし、調査項目および回答方法等を委員会にて再度検討したうえで、2020 年 1 月末に送付する旨を報告した。

4) 教育委員会（岸理事）

第 1 回委員会を 11 月 4 日に開催し、本年度の事業計画を確認した旨、また、看護基礎教育に求められる地域看護学の教育内容と方法について引き続き検討を行う旨を報告した。

5) 国際交流推進委員会（河野理事）資料 7

第 23 巻第 1 号に掲載予定である英文ニュースレター No.19 のトピックスを検討し、原稿執筆を依頼中である旨を報告した。

また、WANS の学会集会在 2020 年 2 月に大阪にて開催予定である旨を併せて報告した。

6) 表彰論文選考委員会（上野理事）

2019 年度論文賞の選考に向けて、委員会にて検討予定である旨を報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会（春山理事）当日資料

学会集會時に開催されたワークショップ「災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）と地域看護活動」（8 月 18 日）に、48 人の参加があった旨を報告した。また、台風 19 号による被災市町村の保健活動に関する情報収集を 2020 年 1 月に実施する旨を併せて報告した。

8) 地域看護学術検討ワーキンググループ（春山理事）当日資料

学会集會時に開催されたワークショップ「地域看護学の再定義」（8 月 18 日）に、92 人の参加があった旨を報告した。また、実施内容を学会誌（第 23 巻第 1 号）に掲載予定である旨を報告した。

6. 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会第 2 回学会集會・総会について（田高理事）資料 8

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会第 2 回学会集會・総会（2020 年 3 月 27 日開催予定）に、宮崎理事および田高理事が出席する旨を報告した。

また、学会集會・総会時に実施されている、加盟学協会による講演について、本学会は 2021 年 3 月に実施予定であり、講演内容は今後検討していく旨を報告した。

7. 第 24 回学会集會について（岸理事）当日資料

2021 年に開催される第 24 回学会集會の日時・会場について、例年どおり 8 月開催とする場合、適当な会場がないことや、他学会の日程等を考慮した結果、2021 年度は 9 月開催とし、パシフィコ横浜と一橋講堂の 2 会場を候補に、引き続き検討を行う旨が報告された。

審議事項

1. 入退会申請者について（石丸理事）資料 9

入会申請者 11 人、退会申請者 21 人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない 4 人については、宮崎理事を推薦人とする旨を確認した。

2. 第 23 回学会集會理事会セミナーについて（宮崎理事長、田高理事）

第 23 回学会集會理事会セミナーについて、ICT などが活用され生活の質が大きく変化するなか、地域コミュニティをどう捉えていくかの方向性の下、講師やセミナー内容など引き続き検討し、次回理事会にて提案する旨を確認した。

3. 第 23 回学会集會発表の演題応募資格について（河野理事）資料 10

学会集會の演題応募資格は、筆頭発表者、共同発表者ともに学会員または入会申請者としていたが、参加者拡大や本学会の活動を多くの人に周知することを目的に、共同発表者は非会員でも可としてはどうかとの提案がなされ、これを承認した。当面の方針として第 24 回以降も継続し、時期をみて評価することとした。

4. 日韓地域看護学会について（河野理事）当日資料

日韓地域看護学会共同学会集會について、ICCHNR が 2021 年に開催されることから共同学会集會は

2021年9月、もしくはそれ以降となる旨を韓国地域看護学会の担当者に連絡し、引き続き検討していくこととした。

5. WANS 理事長の任期延長・次期理事長候補者の推薦について（河野理事）資料 11

WANS より現理事長の任期延長と次期理事長候補者の推薦についての連絡があり、本学会は、現理事長の任期延長は承認し、次期理事長候補者は推薦しない旨を回答することとした。

6. 日本地域看護学会誌電子ジャーナル化について（北山理事）資料 12

第 23 巻第 1 号（2020 年 4 月末発行予定）からの電子ジャーナル化に向けて、公開方法、範囲、経費について編集委員会にて検討した結果、会員専用サイトを新規構築し、新規投稿論文と委員会企画原稿を J-STAGE に即時公開する旨の提案がなされた。

理事会での検討の結果、J-STAGE での即時公開については承認し、学会 HP より J-STAGE にアクセスできるように準備することとした。ただし、会員専用サイトについては当面見送ることとし、必要性や活用方法を、今後、総務および広報委員会を中心に再検討することを確認した。

7. その他

1) 第 22 回学術集会決算報告について（宮崎理事）

第 22 回学術集会では、台風や開催時期などが影響し、参加者が予定より 150 人少なく、決算報告において、約 130 万円の赤字となったことについて、理事・監事にて、検討した結果、次期繰り越し予定額より補填する旨を確認した。

2) 次回理事会の日程について（宮崎理事）

2019 年度第 5 回理事会について、2020 年 2 月 24 日（月）に都内会議室にて開催することとした。

以上